

# 山添藤真

ともに、未来を創ろう

寒さに向かいます折、皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。さて、9月2日～27日までの期間、平成25年9月定例会が開会されました。下水道受益者分担金・負担金の時効問題などをめぐり、活発な議論がおこり、大きく賛否が分かれた定例会となりました。また、一般質問を含めると延べ100人を超える議員が、それぞれの視点でまちづくりに対する熱い思いを込めて、質疑に立ちました。本活動レポートでは、私の発言や日頃の活動の一部をご紹介します。

## 「与謝野町の成長戦略を問う」

山添 平成25年4月に策定された「与謝野町第2次行政改革大綱」には、平成26年度以降の形式的収支の赤字が見込まれ、平成28年度には普通交付税が一本算定へむけて段階的に縮減されていくことから、当町の財政運営は危機的なものになることが謳われている。そうした状況が想定される今、歳出削減や財政規律の堅持をめざすと同時に、当町が成長するためには何が必要かという観点から「成長戦略」を描く必要があると考えている。当町の成長戦略は。

**町長** 総合計画の後期基本計画そのものが当町のまちづくりの道しるべであり、成長戦略であると認識している。

山添 9月上旬に開催された総合計画審議会で、平成24年度総合計画の達成度を評価するベンチマークが示された。成長の鍵となる第2章「伝統を活かし未来にチャレンジする産業づくり」においては、目標値に届いていない項目が数多く見受けられる。見解は。

**町長** 評価された通りである。

## 「産業重視の予算配分を」

山添 自治体の財源は2つに大別される。使途制限が設けられる特定財源と制限がない一般財源である。私は、使途制限が設けられていない一般財源がどのように予算配分されているかを分析することで、自治体のまちづくりに対する姿勢を見ることができると考えている。

**企画財政課長** 必ずしもそうとはいえない。

山添 当町の一般財源充当率（公債費を除いた総額は、福祉関連費（民生費・衛生費）が約40%、農林水産業費と商工費が約6%。この数字から、「福祉」に重点を置くまちづくりの運営であると言える。

私はこの予算配分をより「産業重視」にし、地域経済に活力を生み出していくことが必要であり、可能であると考えている。

**町長** 予算配分を変えたからといって、地域経済が活性化するとはいえない。

山添藤真の時効問題に対する考え方

本定例会においては、下水道受益者負担金・分担金及び農業集落排水受益者分担金・負担金の徴収において、総額約2,670万円にのぼる多額の不納欠損が発生したことを受けて、責任の所在を明確にするための議案（町長・副町長の給与の減額）が上程された。住民の行政に対する信頼を回復するためには、住民説明会を繰り返し開催して、十分な説明責任を果たすことが先決事項であるとの考えのもと、給与条例の改正議案を否決した。

## 「商店街を考える」

山添 平成24年度は中小企業振興基本条例が制定された年であり、与謝野町全体で地域循環型経済の確立をめざすという方向性が示された。

地域で作られた作物などを販売する商店や地域に根ざした小売店、個人商店が集まる商店街には大きな期待を寄せたい。当町の商店街振興の方向性は。

**町長** 町内の商店街はなくなってしまった。平成24年度をもって、商店街に関する予算も打ち切りとなる。

山添 一般的に20の商店が集まる区画を商店街という。そうした規模の区画はなくなってしまったかもしれないが、商店や小売店が集まる区画はある。

今年の夏、ちりめん街道地域で開始された「空き家バンク制度」を空き店舗などにも拡充していくべきだ。  
**商工観光課長** そうした流れになることを期待したい。

# Infomation とうま会 開催のお知らせ



来年4月に与謝野町議会は改選期を迎え、山添藤真の任期も満了します。

これまでの活動を振り返るとともに、今後の活動方針をお伝えする機会にしたいと考えています。

皆様のお越しを心よりお待ちしております。

日時 11月23日(土) 18:00~  
場所 料亭 當里家  
与謝郡与謝野町字岩滝 1693  
<http://www.atari-ya.com>



## 友人たち

今年に入ってから、遠方から丹後へ足をのぼしてくれる友人が増えています。9月はフランスから友人が遊びにくてくれました。天橋立観光・織物工場見学・稲刈り体験など、丹後中に足跡を残していってくれました。

# 世界の TANGO TEXTILE 展



10月2日(水)~7日(月)まで、阪急梅田本店 9F の阪急うめだギャラリーで開催された「世界の TANGO TEXTILE」に出展者のひとりとして参加しました。本展示会は、世界でも高い評価を受けている丹後地域の織物の魅力を発信していくことを大きな目的のひとつにしています。

来場者の方々の評判も高く、次年度以降の継続を期待する声もあがっています。私自身、丹後の織物やものづくりの素晴らしさに魅了された期間となりました。

山添藤真活動レポート  
第13号  
2013.11月 発行

# 活動 報告

山添藤真  
ともに、未来を創ろう

## ちりめん街道 まるごと ミュージアム

10月13日(日)、見事な秋晴れの空の下、ちりめん街道まるごとミュージアムが開催されました。ちんどん屋巡行や大道芸人の技披露があったり、昭和モダンを思い起こさせてくれる演出が続きました。



[www.yamazoetoma.com](http://www.yamazoetoma.com)

ホームページにて山添藤真の日頃の活動をリアルタイムでお伝えしております。

## 山添藤真後援会

〒629-2263 京都府与謝郡与謝野町字弓木 4 9 3 番地  
TEL : 0772-46-2031(携帯 080-2077-4591) FAX : 0772-46-4394  
EMAIL: [toma.yamazoe@gmail.com](mailto:toma.yamazoe@gmail.com)